

**キリストは解放する方であり、
またわたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方である**

聖書：ローマ 8:2, 31-39

- I. わたしたちは命の霊の法則によって、キリストを、わたしたちを解放する方として経験し、享受し、表現することができます——ローマ 8:2 :
- A. ローマ第 8 章の命の霊の法則を享受することは、わたしたちをローマ第 12 章のキリストのからだの実際の中へともたらしめます。わたしたちがからだの中で、またからだのために生きるとき、この法則はわたしたちの内側で活動します——ローマ 8:2, 28-29. 12:1-2, 11. ペリピ 1:19。
- B. すべての命には法則があり、命は法則でさえあります。神の命は最高の命であり、この命の法則は最高の法則です——参照、ヨハネ 1:4-5. 12:24. 14:6 前半. 10:10 後半. I コリント 15:45 後半。
- C. 三一の神は、肉体と成ること、十字架、復活、昇天の手順を経過して、命の霊の法則となり、「科学的な」法則、自動的な原則として、わたしたちの霊の中に設置されました。これは神のエコノミーにおける最大の発見、さらには回復の一つです——ローマ 8:2-3, 11, 34, 16。
- D. 命の霊の法則は、神聖な命の自然な力です。それは神聖な命の自然な特性、固有の、自動的な機能です——ローマ 8:2. ペリピ 2:13. エゼキエル 36:26-27. 箴 30:18-19. イザヤ 40:28-31. ヘブル 12:2 前半. ペリピ 4:13. コロサイ 1:28-29。
- E. わたしたちが主に触れ、彼と接触し続けているとき、命の霊の法則は自動的に、自然に、努力することなく働きます：
1. わたしたちは自分の奮闘と努力をやめる必要があります——ガラテヤ 2:20 前半. ローマ 7:15-20 :
- a. 罪が法則であること、またわたしたちの意志が決してこの法則に打ち勝つことができないことを見たことがないなら、わたしたちはローマ第 7 章に閉じ込められます。わたしたちは決してローマ第 8 章に到達しないでしょう。
- b. パウロは何度も志を立てましたが、その結果はただ失敗の繰り返しでした。人が行ない得る最上のことは、決意することです——7:18。
- c. 罪はわたしたちの内側で潜伏しているとき、単に罪ですが、わたしたちが善を行なおうとすることによってわたしたちの中で起き上がるとき、「悪」となります。「そこでわたしは、善を行なおうと欲しているわたしに、悪が共にあるという法則を見いだします」——21 節。
- d. わたしたちは志を立てるのではなく、思いを霊に付け、霊にしたがっ

て歩くべきです——8:6, 4. ピリピ 2:13。

2. わたしたちは祈りによって、また依存する霊を持つことによって、内住する、設置された、自動的な、内で活動する神と協力し、こうして命の主また働きの主との交わりを維持する必要があります——I テサロニケ 5:17. エペソ 6:17-18。
 3. わたしたちは霊の中の命の感覚を顧慮し、命の交わり、すなわち神聖な命の流れの中にとどまり、命の霊の法則を活動させる必要があります——ローマ 8:6, 16. I ヨハネ 1:2-3, 6-7。
- F. キリストのからだの中でのわたしたちの生活と奉仕のすべてのかぎは、わたしたちの内側で活動する命の霊の法則です：
1. 命の霊の法則は、神格においてではなく、命、性質、表現においてわたしたちを神とし、神の長子のかたちへと形成して、ご自身の団体の表現とならせます——ローマ 8:2, 29。
 2. 命の霊の法則は、わたしたちをキリストのからだの肢体に構成し、あらゆる種類の機能を持たせます——エペソ 4:11-12, 16。
- G. わたしたちは、命の霊の法則として内側で活動する三一の神と協力することができます。それは、以下の方法でこの法則に「スイッチを入れる」ことによってです：
1. わたしたちは霊にしたがって歩く、すなわち霊の中で生きる必要があります——ローマ 8:4. 参照、詩 23:3：
 - a. キリストを経験する秘訣は、わたしたちを力づけていっさいの事柄を行なわせる方の中にいることであり、彼の中にいる秘訣は、わたしたちの霊の中にいることです——ピリピ 4:12-13, 23。
 - b. キリストの中で生きる実行は、わたしたちの霊の中で生きることです。ローマ人への手紙で使徒パウロが強調しているのは、わたしたちが何であっても(2:29. 8:5-6, 9)、何を持っていても(8:10, 16)、神に対して何を行なっても(1:9. 7:6. 8:4, 13. 12:11)、わたしたちの霊の中になければならないということです：
 - (1) わたしたちは霊の中で生きるために、時間を費やして主を見つめ、祈ってイエスと交わり、彼の御顔の中に浸り、彼の麗しさと浸透され、彼のすばらしさを輝かし出す必要があります——II コリント 3:16, 18. 詩 27:4. 参照、マタイ 6:6. 14:23. 出 33:11 前半. 34:4, フットノート 2。
 - (2) わたしたちは霊の中で生きるために、絶えず祈る必要があります——I テサロニケ 5:17. 参照、ヨハネ 20:22. 哀 3:55-56. ローマ 10:12-13。
 - (3) わたしたちは霊の中で生きるために、神聖な命の交わりの中にと

どまり、神聖な光の中を歩く必要があります——Ⅰヨハネ 1:2-3, 6-7。

2. わたしたちはその霊の事柄を思うことができます。これは思いを霊に付けることです——ローマ 8:5-6:
 - a. わたしたちは霊に注意し、わたしたちの霊の感覚に注意を払う必要があります。それは、その霊を悲しませず、その霊を消さないためです——マラキ 2:15-16. エペソ 4:30. Ⅰテサロニケ 5:19。
 - b. わたしたちは、霊であり命である神の言葉にわたしたちの思いを付けることによって、思いを霊に付けることができます——ヨハネ 6:63. イザヤ 55:8-11。
 - c. わたしたちの思いを霊に付けること、その霊の事柄を思うことはまた、主と一になって、キリスト・イエスの心の深みの中で、召会とすべての聖徒を顧みることです——ピリピ 2:21. 1:8。
3. わたしたちは、その霊によって体の行ないを死に渡すことができます——ローマ 8:13. ゼカリヤ 4:6. ガラテヤ 5:16:
 - a. わたしたちはその霊に、わたしたちの内側の存在に居住し定住していただかなければなりません——ローマ 8:9, 11。
 - b. わたしたちは召会生活にとどまる必要があります。そこでは平安の神が、サタンをわたしたちの足の下に踏み砕きます——16:20. 12:1-2, 11。
4. わたしたちは神の子たちとして、その霊によって導かれることができます——8:14:
 - a. その霊によって導かれるとは、内なる油塗り、すなわち、内住する複合の霊の行動と働きに注意を払うことです——Ⅰヨハネ 2:20, 27。
 - b. その霊によって導かれるとは、わたしたちの霊の中の安息を顧慮し、キリストの凱^{がい}旋^{せん}行進の中の捕虜として導かれることです——Ⅱコリント 2:12-14. 7:5-6。
5. わたしたちは子たる身分の霊の中で御父に叫ぶことができます——ローマ 8:15. ガラテヤ 4:6:
 - a. わたしたちが「アバ、父よ！」と叫ぶ時(ローマ 8:15)、「その霊ご自身、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを、証ししていただきます」(16節)。
 - b. 「アバ、父よ！」と叫ぶことは、わたしたちとわたしたちの神との親密な関係の甘さを表現します——参照、マタイ 18:3。
6. わたしたちは、とりなす霊の中で、完全な子たる身分、すなわち、わたしたちの体の贖いのために、うめくことができます——ローマ 8:23, 26-27:

- a. わたしたちがうめく中で、その霊もうめき、わたしたちのためにとりなします。
- b. とりなす霊は、わたしたちが神の長子であるキリストのかたちに同形化されるようにと、わたしたちのために祈っています——28-29 節。

II. わたしたちはキリストを、わたしたちを勝ち得て余りがあるようにする方として経験し、享受し、表現することができます——ローマ 8:37 :

A. わたしたちは神を愛し、キリストの愛によって押し迫られ、拘束され、動機づけられ、強いられ、かき立てられ、推進されて、すべての事柄において勝ち得て余りがあることができます——31-39 節 :

1. わたしたちは神を愛することによって、神の中にあるすべての豊富にあずかります——I コリント 2:9-10. 参照、II テモテ 3:2-4。
2. わたしたちはキリストの愛によって押し迫られ、わたしたちの愛であるキリストをもって、神と聖徒たちを愛する必要があります——II コリント 5:14。

B. 「もし神がわたしたちの味方であるなら、だれがわたしたちに敵対し得るでしょうか？」——ローマ 8:31. エレミヤ 31:31-34. ヘブル 8:8-10 :

1. 「わたしは永遠の契約を彼らと結んで、彼らから離れず、彼らに幸いなことを行なう。また彼らの心の中にわたしに対する畏れを置いて、彼らがわたしから離れ去らないようにする。わたしは彼らを喜び、彼らに幸いなことを行ない、真実をもって、わたしの心を尽くし、わたしの魂を尽くして、彼らをこの地に植える」——エレミヤ 32:40-41。
2. この永遠の契約は新しい契約です。この契約によって、神はわたしたちから離れず、わたしたちの良き地であるキリストの中にわたしたちを植え、キリストのすべての面はわたしたちによって買われます。すなわち、わたしたちが代価を払って後ろにあるものを忘れ、キリストを追い求めることを通して、わたしたちによって獲得されます——40-44 節. ピリピ 3:8-14。

C. 神はキリストと共に、万物を無代価でわたしたちに賜わります。あらゆるもの、あらゆる人、あらゆる状況は、彼を愛するわたしたちのものであって、わたしたちを成就するためです——ローマ 8:28, 32. I コリント 3:21-22。

D. キリストは、わたしたちのために死に、そして復活させられた後、神の右で、わたしたちのためにとりなしています——ローマ 8:34 :

1. 34 節において、キリストは神の右にいますが、10 節において、キリストは今、わたしたちの中に、わたしたちの霊の中にいます——II テモテ 4:22. 参照、ヨハネ 1:51. 創 28:11-22。
2. ローマ第 8 章 34 節では、キリストがわたしたちのためにとりなしていま

すが、26節では、その霊がわたしたちのためにとりなしています：

- c. これは二人のとりにす方ではなく、ひとり、すなわち主なる霊です——Ⅱコリント 3:18。
 - d. 彼は両端で、わたしたちのためにとりなしています。おそらく一つの端では、わたしたちの中のその霊が、わたしたちのためのとりなしに着手します。おそらくもう一つの端では、神の右におられる主なるキリストが、わたしたちのためのそのとりなしを完成します。それはおもに、わたしたちが彼のかたちに同形化され、彼の栄光の中へともたらされるためであるに違いありません。
- E. どのような苦難も、患難、苦悩、迫害、飢え、裸、危険、剣を含めて、わたしたちをキリストの愛から引き離すことはありません——ローマ 8:35。
- F. すべての苦難において、わたしたちを愛してくださったキリストを通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります——37節：
- 1. わたしたちに対する神の不変の愛と、キリストがわたしたちのためにすべてを成就されたという事実のゆえに、患難も迫害も、わたしたちを圧迫することはできず、わたしたちを打ち破ることはできません。むしろ、これらすべての事柄において、わたしたちを愛してくださった方を通して、わたしたちは勝ち得て余りがあります。
 - 2. 神の愛が神の永遠の救いの源です。この愛はキリストの中にあり、聖霊を通して、わたしたちの心の中に注がれています。何ものも、わたしたちをこの愛から引き離すことはできません——ローマ 8:38-39, 5:5, エレミヤ 31:3。
 - 3. 神の救いにおける神の愛は、キリストの愛となりました。この愛は、神の全体的な救いがわたしたちの中で完成されるまで、キリストの恵みを通して、わたしたちのために多くの驚くべき事をします——ローマ 8:35, ホセア 11:4。
 - 4. これらの驚くべき事は、神の敵があらゆる災いをういてわたしたちを攻撃することを引き起こします。しかし、これらの攻撃は、キリストにある神の愛に対するわたしたちの応答のゆえに、わたしたちの益となります。ですから、わたしたちはあらゆる患難や災いの中で、勝ち得て余りがあるのです——ローマ 8:35-37, 28。